

# 2026年3月期 決算説明資料

2026年5月13日

ポラリス・ホールディングス株式会社



- エグゼクティブサマリー
- 決算ハイライト
- 決算概要
- 事業トピックス
- 事業概況
- 新規出店の状況
- 業績予想
- 株主価値の向上
- Appendix

## 当社の業績に関するご留意点

- (1) 2024年12月 (株)ミナシアのM&Aが完了したことで2025年3月期より会社規模が大幅に拡大しています
- (2) ミナシアのM&Aに伴い、新株の発行を行ったこと、年間13億円の「のれん償却費」を計上していることから、当社では**実質的な会社の収益力を表すのれん償却前の各利益・税引前EPSを重視しており、本資料ではのれん償却前の数字を掲載しています**
- (3) 2026年3月期は繰延税金資産の計上に伴う**法人税等調整額の計上により、当期純利益が大幅に増加しています**
- (4) ポラリスHDとミナシア及び海外ホテルでは会計年度が異なるため連結業績の業績取込み期間にずれがあります



# エグゼクティブサマリー

## 決算

直近の業績予想を上回る着地  
売上・利益・EPSいずれも  
**前期同期を大きく上回る**

## 事業環境

2025年訪日外客数は過去最高  
日中関係悪化の影響は12月から  
**中東情勢の影響を注視**

## 事業概況

既存運営ホテルのRevPARは  
前年同期比で  
**+11%**と好調な結果

## 新規出店

8ホテルが開業  
21ホテルの新規出店が決定済み  
**順調に規模拡大**

## 中期経営計画の進捗

好調な業績により  
各目標値を1年前倒しで  
**概ね達成**

## 株主還元の取り組み

期初予想3円を**5円に増配**  
**株主優待を拡充**

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 決算ハイライト〔のれん償却前〕

- (1) ミナシアとの経営統合、新規出店、既存運営ホテルの収益増加により、大幅な増収増益を達成
- (2) 当期純利益は繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額を約19億円計上したことで大幅に増加
- (3) 税引前当期純利益をベースにしたEPSも前年同期比+84%と大きく成長
- (4) 配当は期初予想から増配し、5円に決定

単位:百万円	2025年3月期 注 実績	業績予想 2026/3/25公表	2026年3月期 実績	業績予想比		前年同期比	
				増減額	達成率	増減額	増減率
売上高	27,153	47,000	<b>48,469</b>	+1,469	103%	+21,317	+79%
営業利益	2,403	5,004	<b>5,346</b>	+342	107%	+2,943	+122%
経常利益	1,492	3,904	<b>4,200</b>	+296	108%	+2,708	+181%
税引前当期純利益	1,488	-	<b>4,144</b>	-	-	+2,655	+178%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,209	5,304	<b>5,900</b>	+596	111%	+3,691	+167%
税引前EPS (円)	9.64	-	<b>17.72</b>	-	-	+8.08	+84%
のれん償却費	326	1,304	<b>1,304</b>	-	-	-	-
配当 (円)	3.0	4.0	<b>5.0</b>	+1.0	+25%	+2.0	+67%

注 1. 一時的な要因である出資分配益（728百万円）の影響を除外した数値。

2. ミナシア及び海外ホテル（1ホテル除く）の業績は2025年1月～12月期の業績を取込み。

3. のれん償却費はミナシア買収に伴って2025年3月期第4四半期より発生。詳細はAppendix P.29に記載。

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

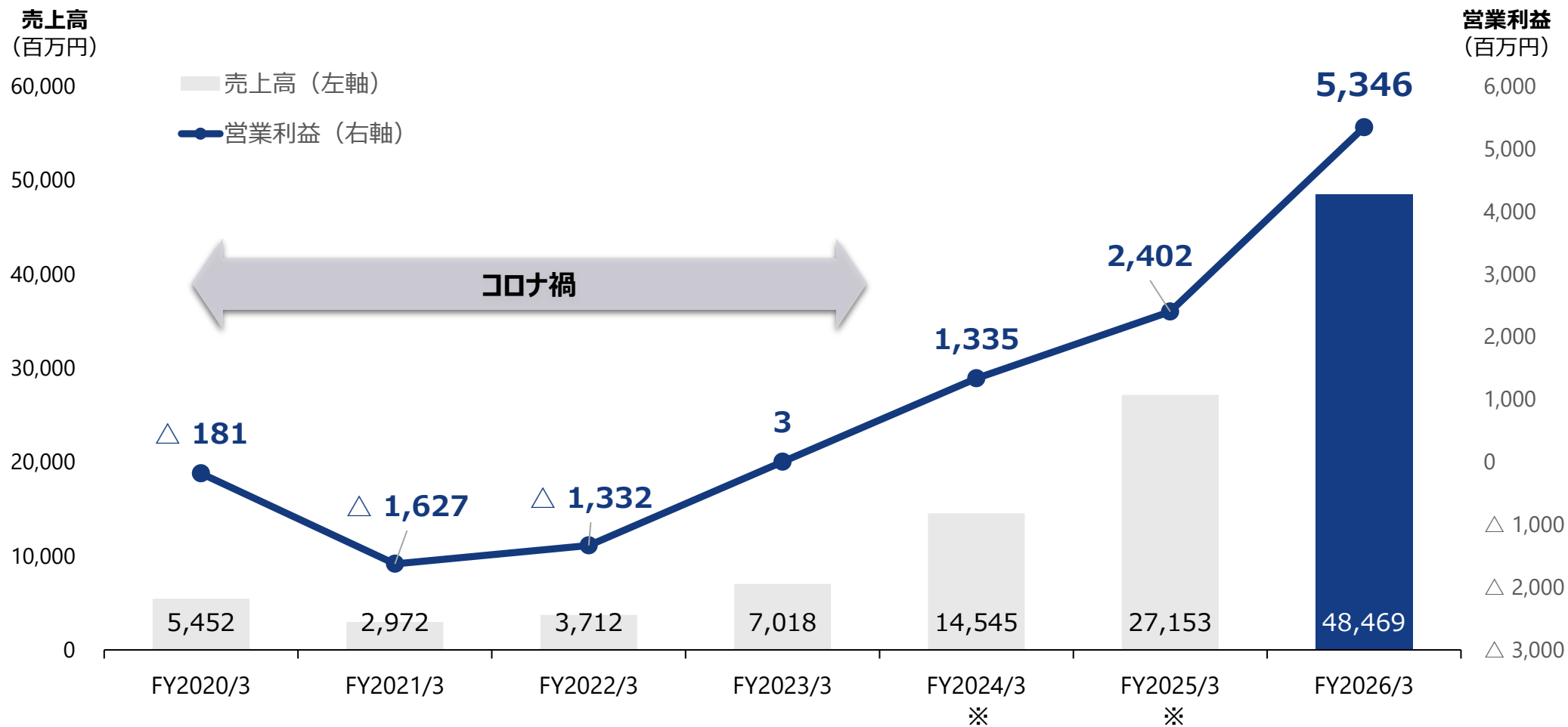
業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 決算概要：売上高・営業利益(のれん償却前)の推移

コロナ禍の2022年3月期以降、5期連続で増収増益を達成



※ 一時的な要因である不動産売却及び出資分配益の影響を除外した数値。

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

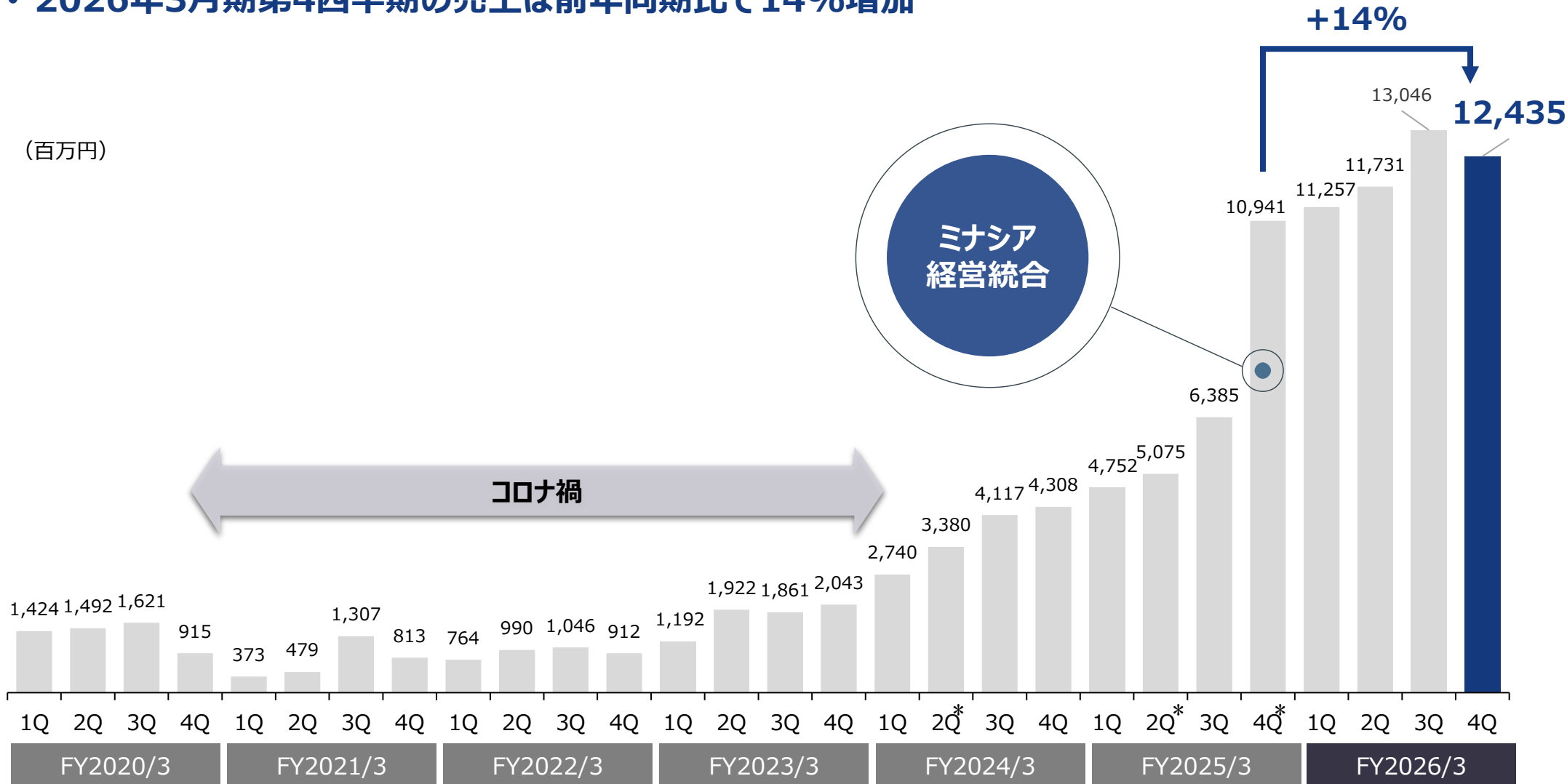
株主価値の向上

Appendix

# 決算概要：四半期売上の推移

- ・ ミナシア統合後も既存ホテルの売上増加及び新規出店効果により順調に売上増加が継続
- ・ 2026年3月期第4四半期の売上は前年同期比で14%増加

(百万円)



\*一時的な要因である不動産売却及び出資分配益の影響を除外した数値。

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

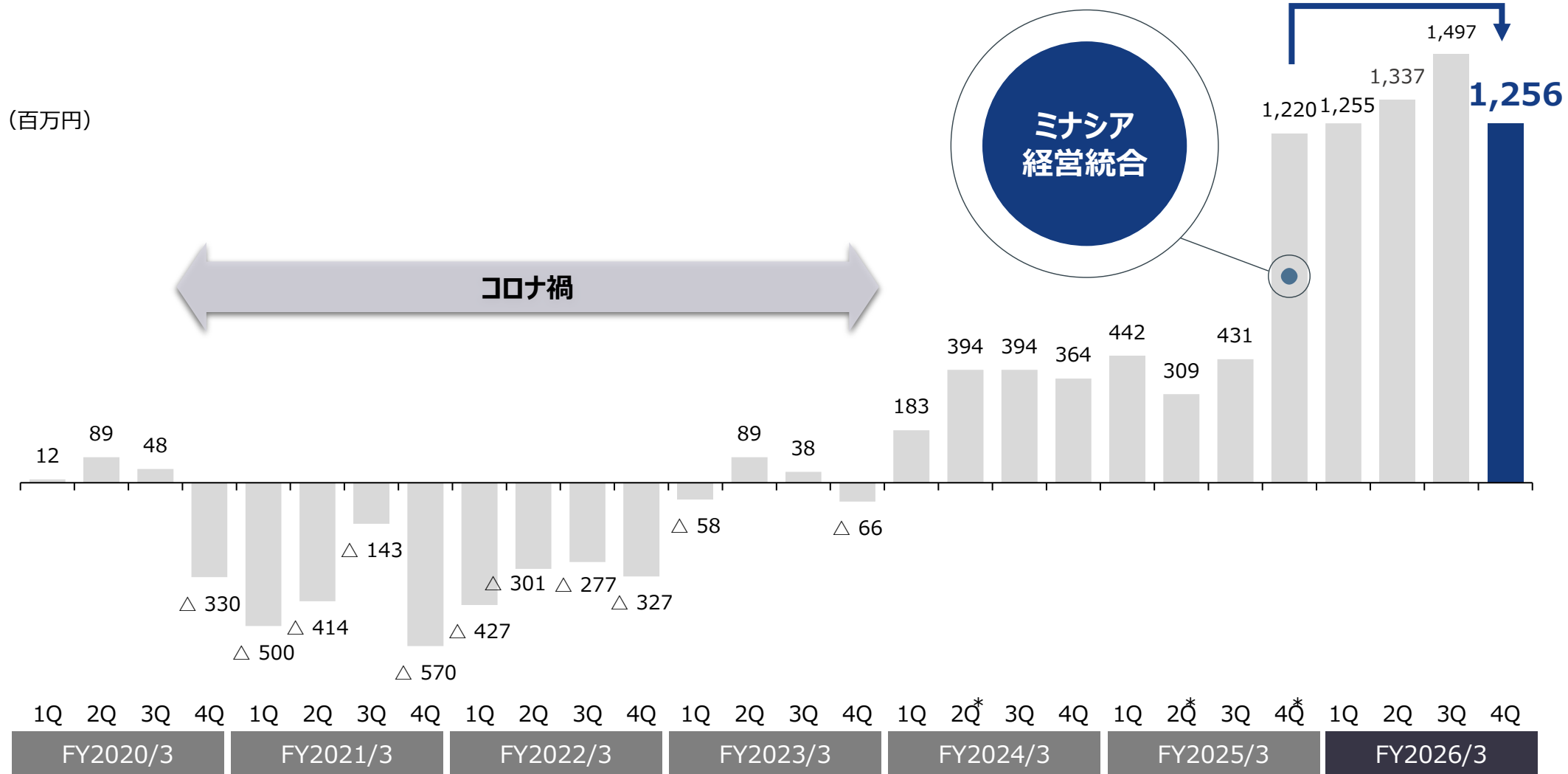
業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 決算概要：四半期営業利益（のれん償却前）の推移

- 売上増加に伴い、営業利益も順調に伸長
- 2026年3月期第4四半期の営業利益は前年同期比で3%増加



\*一時的な要因である不動産売却及び出資分配益の影響を除外した数値。

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

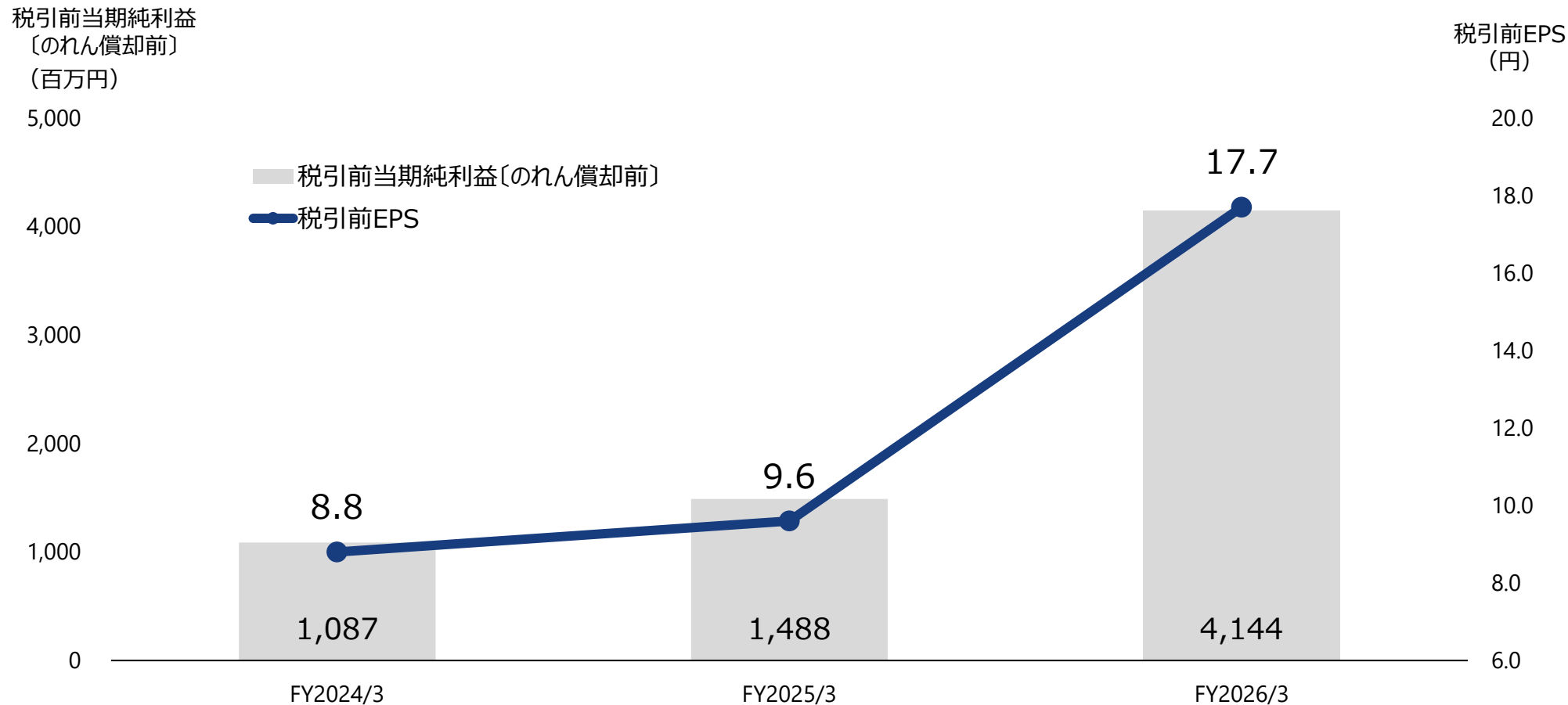
業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 決算概要：EPSの推移

のれん償却費、繰延税金資産の計上の影響を排除した税引前当期純利益をベースにしたEPSでは、ミナシアの経営統合、ホテルの開業、既存ホテルの収益増加により大きく成長



注：税引前当期純利益〔のれん償却前〕÷期中平均株式数で計算。2024年3月期および2025年3月期は一時的な利益である不動産投資持分売却益等を除外。

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 2026年3月期の主な事業トピックス

## PMIの進捗

- KOKO HOTELSへの**ブランド統合が完了**し、全ホテルのリブランドが完了
- ポラリス・ミナシアの**組織統合・再編及び事務所移転が完了**
- 今後のホテル数拡大に向けた**基盤構築が進む**

## 好調な新規出店

- 新たに**11ホテル**の新規案件を受注
- 2026年3月期は**8ホテルが開業**
- **新ブランド**「kokonoyu」、ライフスタイルホテルの新ブランド展開を決定

## 新たな取り組みへの挑戦

- 外資ブランドをパートナーとする**マスターリーススキーム**をスタート
- ニセコのアップスケールホテルのアドバイザー契約を獲得
- 大阪・海浜幕張のホテルへスポンサーグループとの**共同投資を実行**

## その他

- **上場維持基準（流動性比率）に適合完了**
- スポンサーグループが「**みずほリースグループ**」と**資本業務提携**契約を締結し、さらなるサポート強化を期待

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

**事業概況**

事業環境

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

Appendix

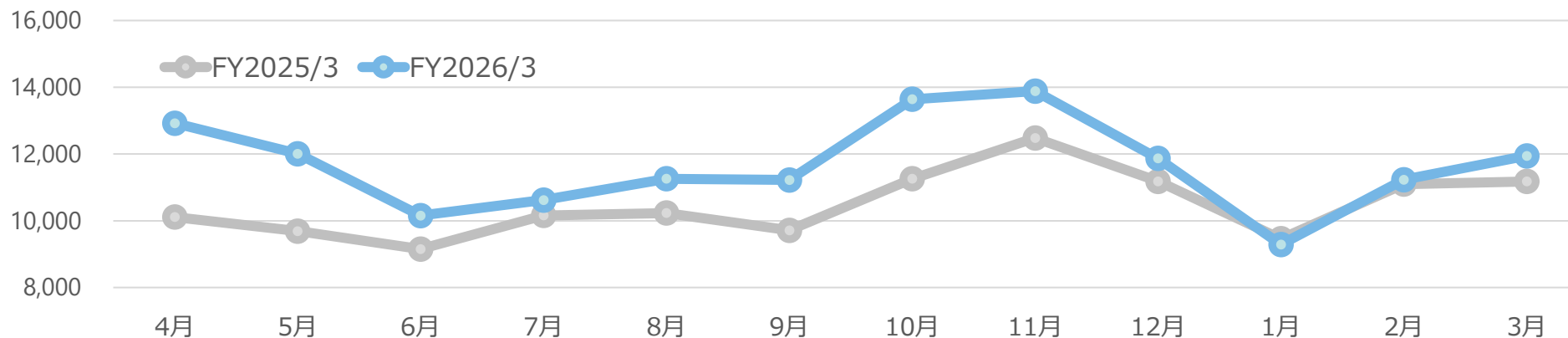
# 事業概況：国内ホテル - ポートフォリオKPI

インバウンドを含む堅調な需要に支えられ年間のRevPARは前年同期比 **11.3%**増加と好調な結果

2025年4月～2026年3月（12ヶ月）

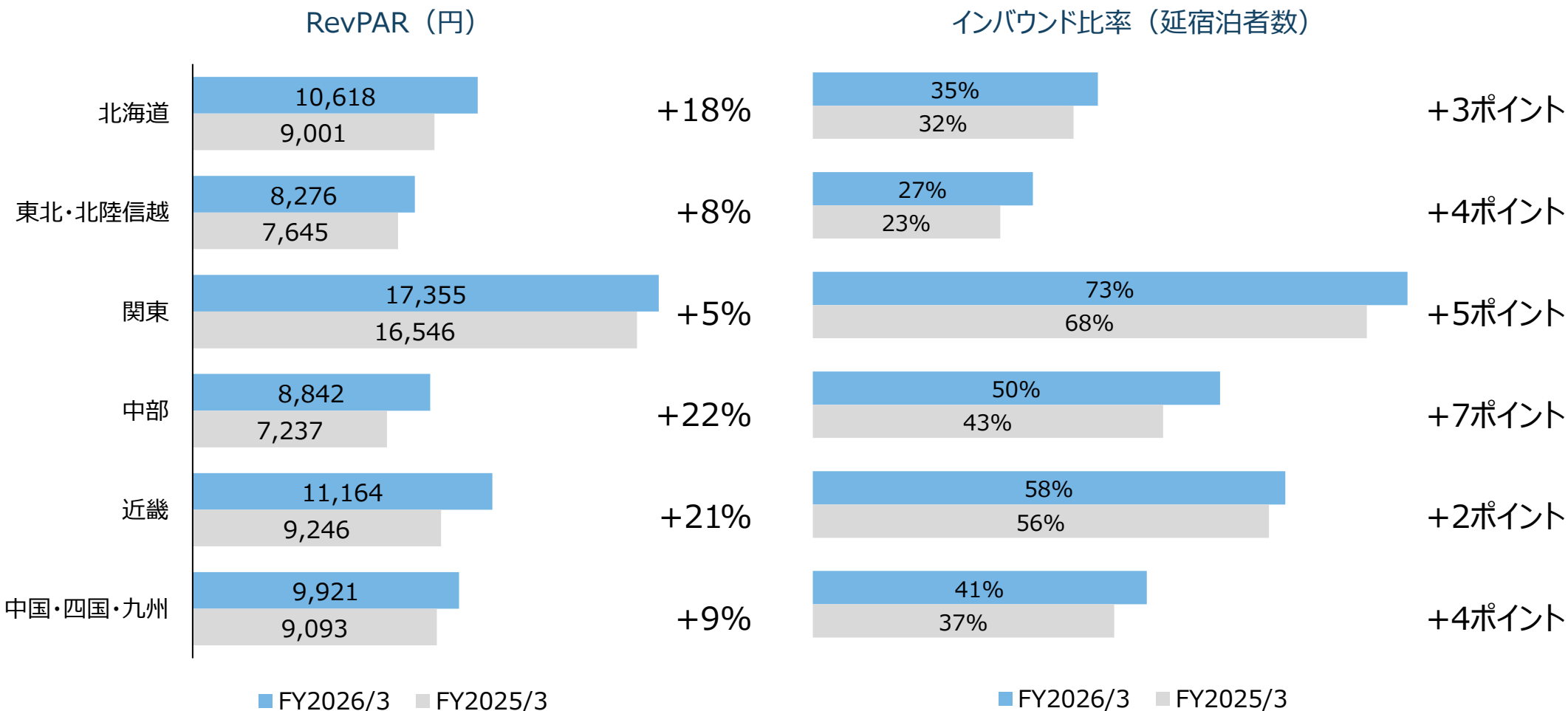
比較可能ホテル： 65ホテル	実績		前年同期比	
	前期	当期	増減数	増減率
客室稼働率	87.6%	<b>90.2%</b>	+2.5%	—
ADR（円）	11,976	<b>12,954</b>	+979	+8.2%
RevPAR（円）	10,496	<b>11,682</b>	+1,186	+11.3%
インバウンド比率	47.7%	<b>51.7%</b>	+4.0%	—

## 国内ホテルRevPAR推移



# 事業概況：国内ホテル - エリア別KPI

- 全てのエリアでインバウンド比率が増加し、RevPARも成長
- 特に北海道、中部、近畿エリアのRevPARは大きく成長

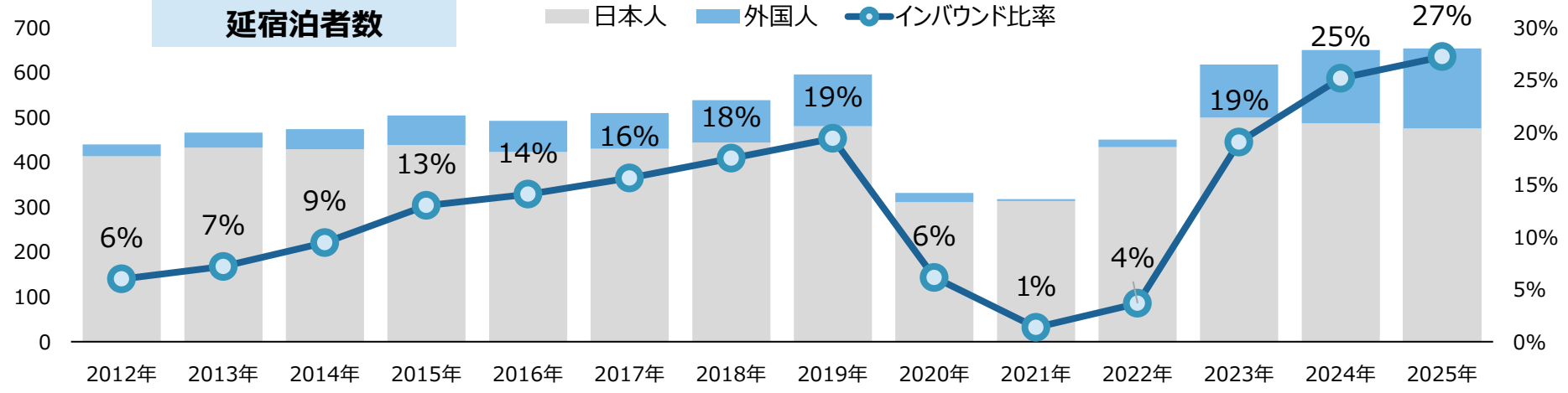


- 決算ハイライト
- 決算概要
- 事業トピックス
- 事業概況
- 事業環境**
- 新規出店の状況
- 業績予想
- 株主価値の向上
- Appendix

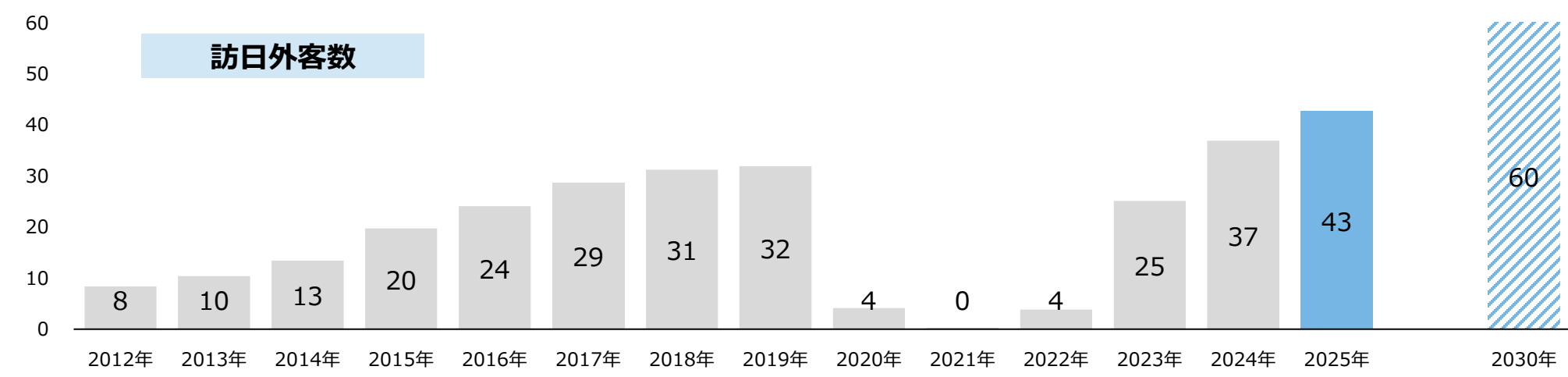
# 事業環境：延宿泊者数・訪日外客数推移

- 2025年の訪日外客数は約43百万人と過去最高値を更新
- 政府目標である年間60百万人の達成に向けて引き続き成長が見込まれる

単位：百万人



単位：百万人



出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」及び日本政府観光局「訪日外客統計」を基に当社作成

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

**事業環境**

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

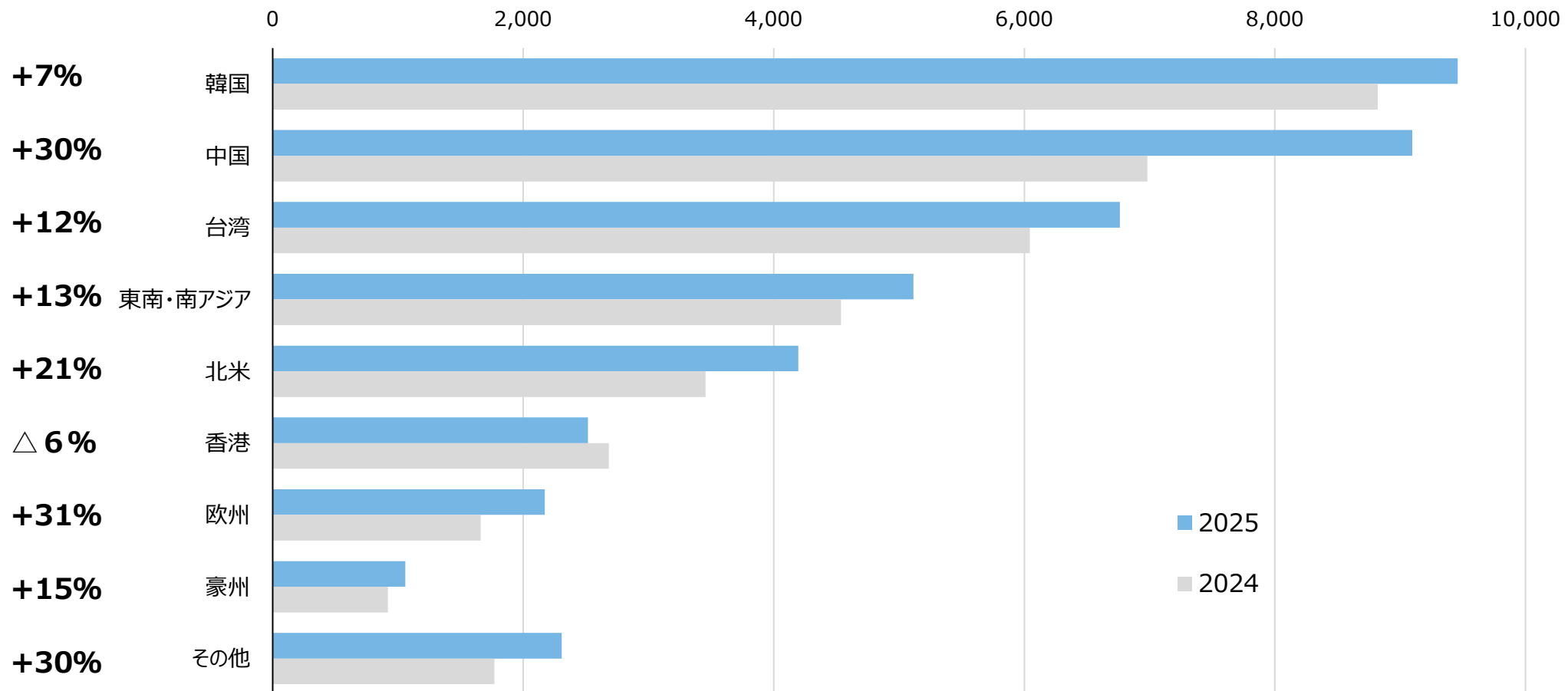
Appendix

# 事業環境：国籍・エリア別インバウンド動向

- 2025年は香港を除き多くの国・エリアからの訪日外客数が増加
- アジアからの訪日客の増加に加え、特に北米・欧州からの訪日客も増加傾向が継続

国籍・エリア別訪日外客数

単位：千人



出所：日本政府観光局「訪日外客統計表」を基に当社作成

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

**事業環境**

新規出店の状況

業績予想

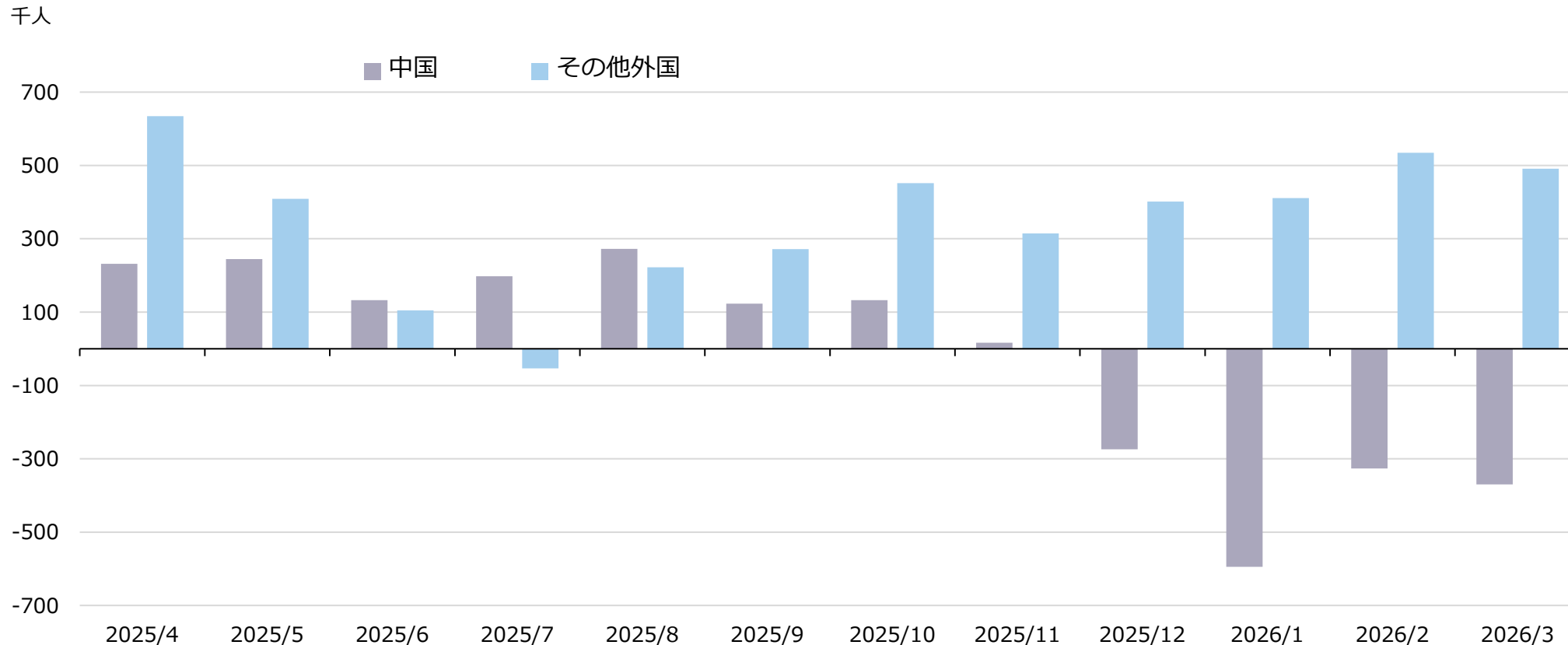
株主価値の向上

Appendix

# 事業環境：日中関係悪化の影響

- 中国については2025年12月以降、減少傾向が継続する一方、その他外国は増加傾向を維持
- 当面は中国人ゲストの減少をその他外国がカバーする状態が継続するものと想定

訪日外客数 前年同月比増減値

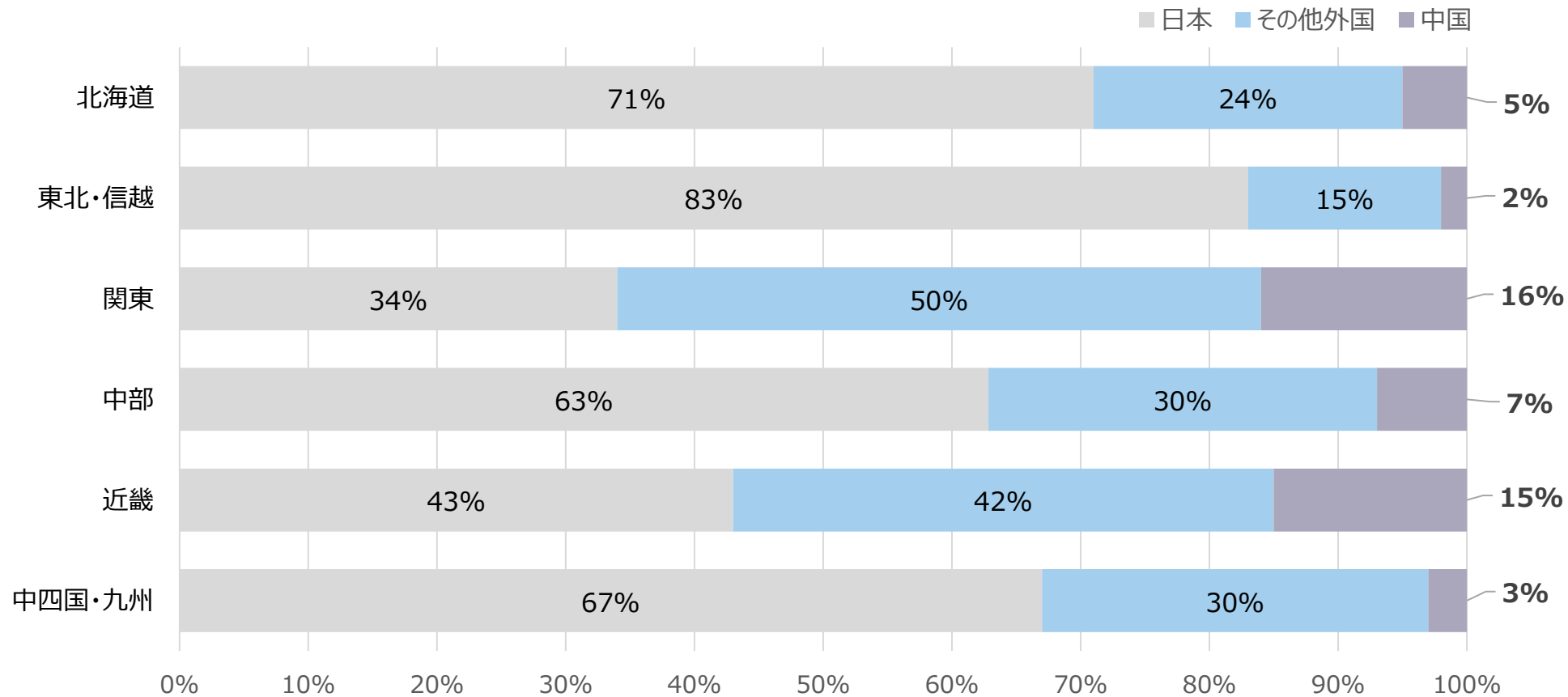


出所：日本政府観光局「訪日外客統計表」を基に当社作成

# 事業環境：日中関係悪化の影響（続き）

- 中国人ゲスト比率が高い関東・近畿エリアでは影響を受けたが、その他エリアでの影響は限定的
- 中国人ゲストの減少が仮に長期化しても、ポートフォリオの地域分散効果により減少をカバー

## エリア別延販売客室数 国籍別比較（2025年4月～2026年3月）



決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

**事業環境**

新規出店の状況

業績予想

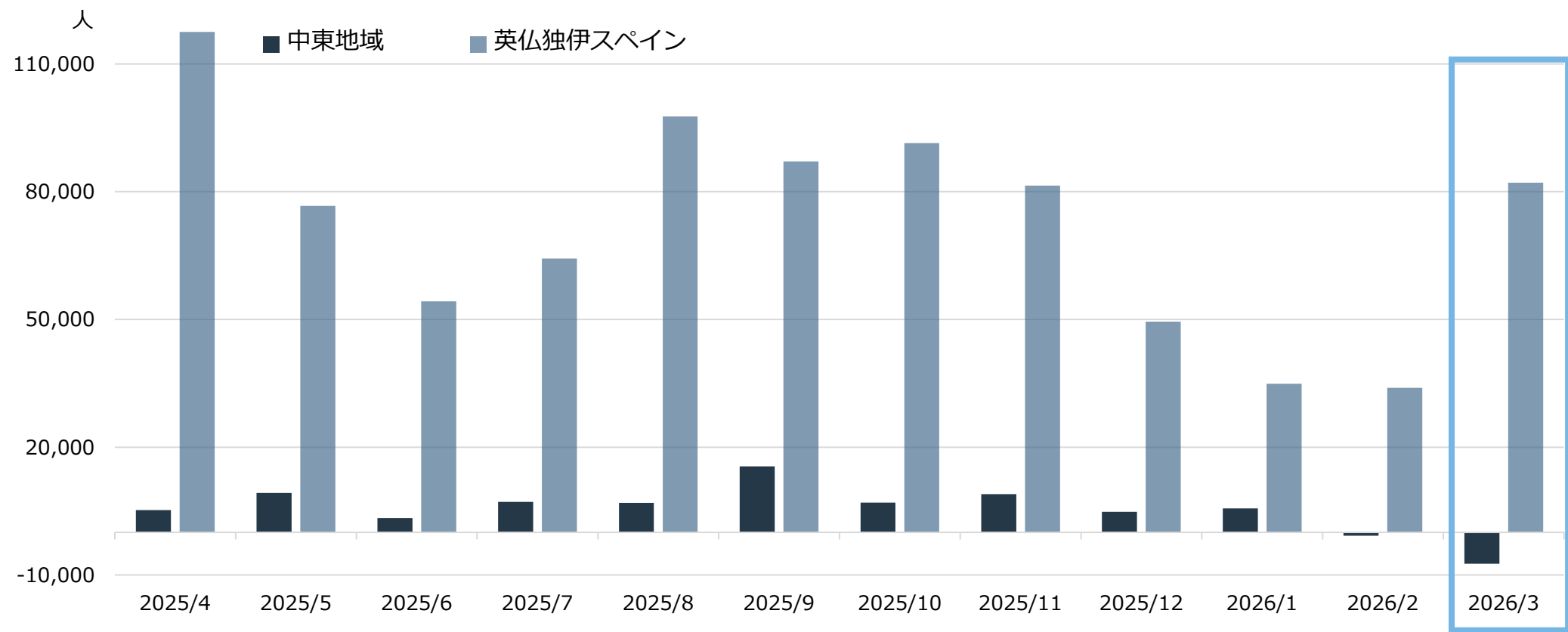
株主価値の向上

Appendix

# 事業環境：中東情勢の影響

- 中東情勢の影響により、2026年3月の中東からの訪日客は前年比で減少
- 中東の空港を経由する便が多いヨーロッパからの訪日客は大きく増加しており、現時点では影響が不透明であるため、今後の状況を注視

訪日外客数 前年同月比増減値

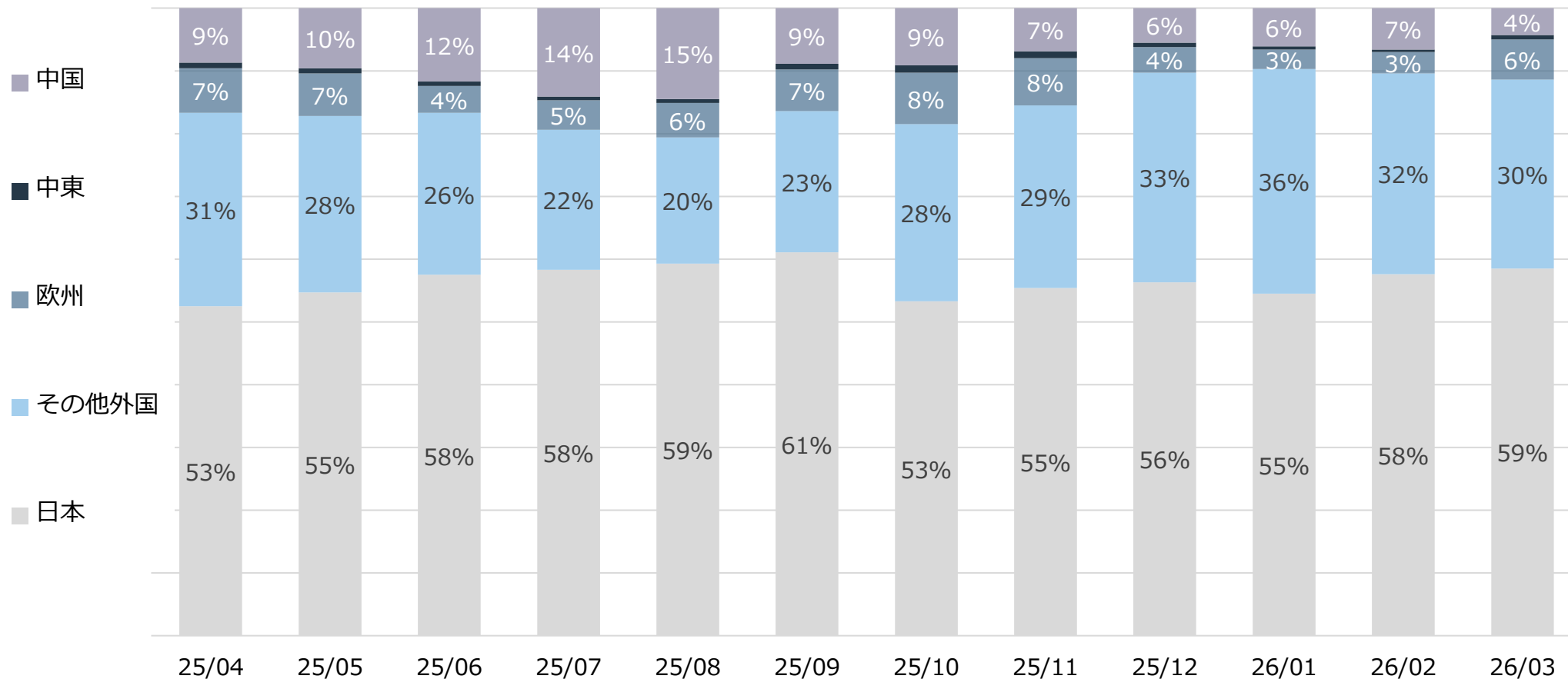


出所：日本政府観光局「訪日外客統計表」を基に当社作成

# 事業環境：中東情勢の影響（続き）

- 中東からのゲストのシェアは全体の1%未満であり、減少による当社への影響は軽微
- ヨーロッパについては、直近のシェアは6%程度と高くないものの今後の情勢を引き続き注視

国内比較対象ホテル / 国籍別延販売客室数構成比



決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

**新規出店の状況**

業績予想

株主価値の向上

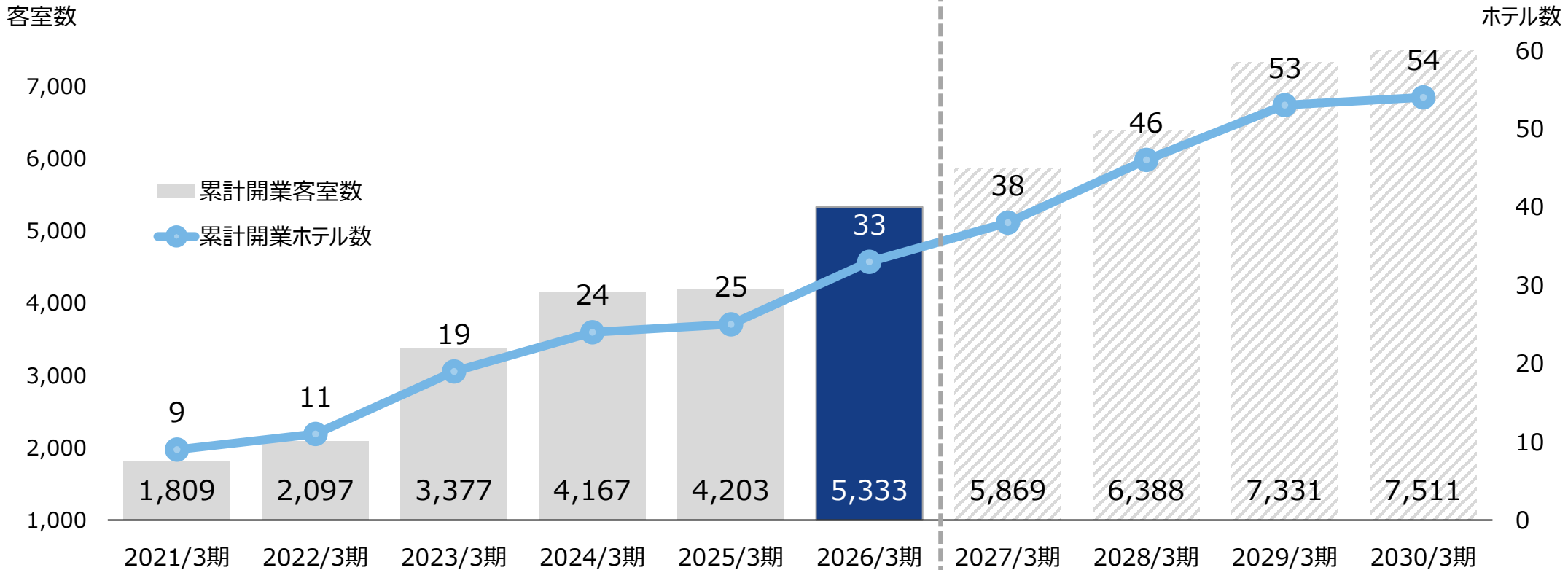
Appendix

# 新規出店の状況：国内新規出店累計

- 2026年3月期は8ホテルを開業
- 2026年3月期に11件の新規案件を受注し、好調な受注ペース

2020年以降  
**33** ホテル **5,333** 室出店<sup>注1</sup>

2031年3月末までに  
**21** ホテル **2,178** 室増加<sup>注2</sup>



注：1. 企業買収（レッドプラネットおよびミナシア）によるホテル数・客室数の増加を含まない。  
2. 開示済の契約済みホテルのみの推移であり、契約締結に向けて交渉中・検討中等のホテルを含まない。

# 2027年3月期 業績予想〔のれん償却前〕

- (1) 既存ホテルの売上増加（RevPAR+5%）及び新規出店（5ホテル）等により売上は12%成長を見込む
- (2) 当期純利益は繰延税金資産の計上による影響で、法人税等調整額で前期比で約32億の差異が発生することにより減益となる見込みだが、法人税等調整額の影響を排除すると実質的には成長
- (3) 2027年3月期の配当予想は5円を予定

単位:百万円	2026年3月期 実績	2027年3月期 業績予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	48,469	<b>54,500</b>	+6,031	<b>+12%</b>
営業利益	5,346	<b>5,504</b>	+158	+3%
経常利益	4,200	<b>4,304</b>	+104	+2%
税引前当期純利益	4,144	<b>4,304</b>	+160	+4%
法人税等調整額	△1,857	<b>1,349</b>	3,206	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,900 (4,043)	<b>2,903</b> <b>(4,253)</b>	-2,996 (+210)	-51% (+5%)
税引前EPS（円）	17.72	<b>18.40</b>	+0.68	—
のれん償却費	1,304	<b>1,304</b>	—	—
配当（円）	5.0	<b>5.0</b>	0	0%

注：カッコ内の数字は法人税等調整額の影響を排除した実質的な当期純利益の金額

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

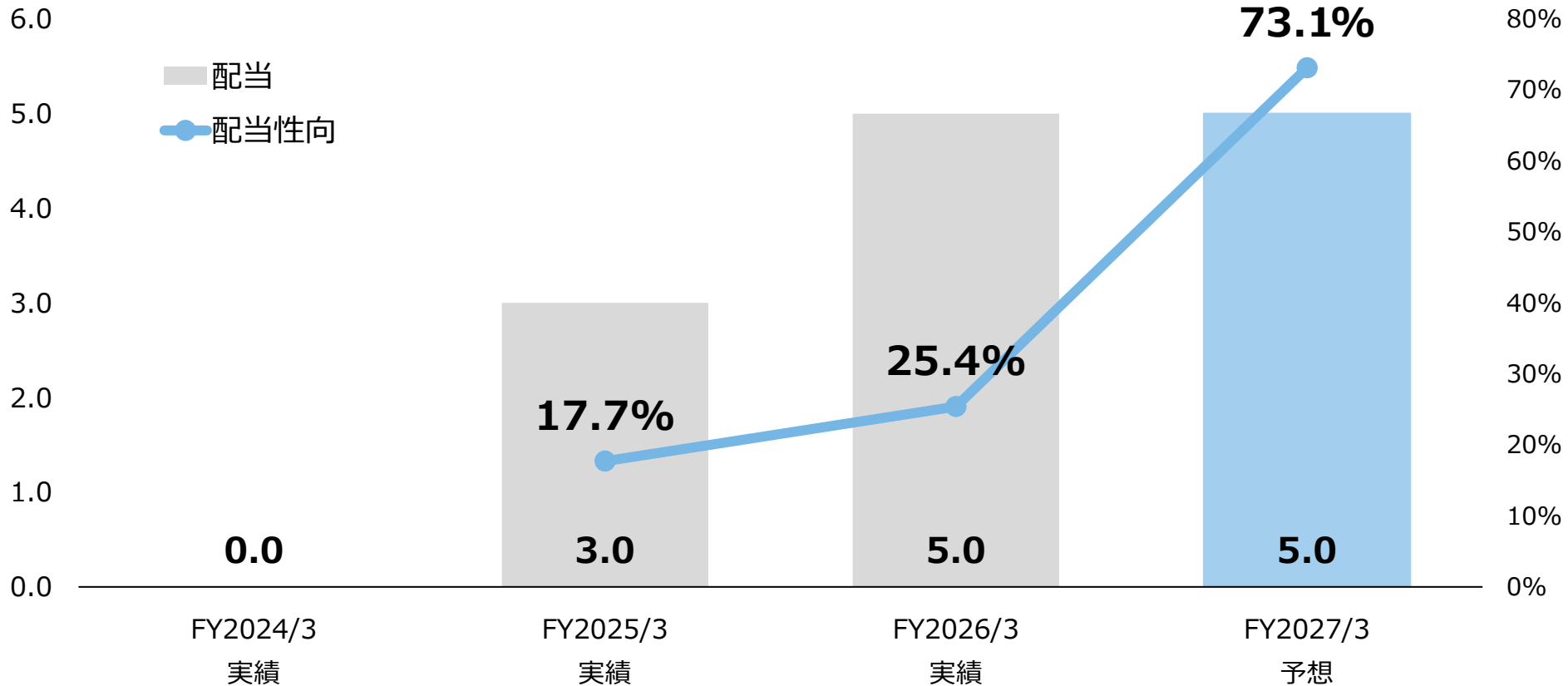
株主価値の向上

Appendix

# 株主価値の向上：配当の上方修正

- 配当を期初予想3円、上方修正後4円から、さらに5円に増配し、株主様への還元を強化
- 法人税等調整額の影響を排除した実質的な配当性向は、FY2026/3は42.7%、FY2027/3予想は73.1%

単位：円



決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

**Appendix**

# *Appendix*

- 決算ハイライト
- 決算概要
- 事業トピックス
- 事業概況
- 事業環境
- 新規出店の状況
- 業績予想
- 株主価値の向上
- Appendix

# 会社概要：国内ホテルブランドの紹介

## KOKO HOTELを基軸に多様なニーズに対応するブランドポートフォリオを構築



決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

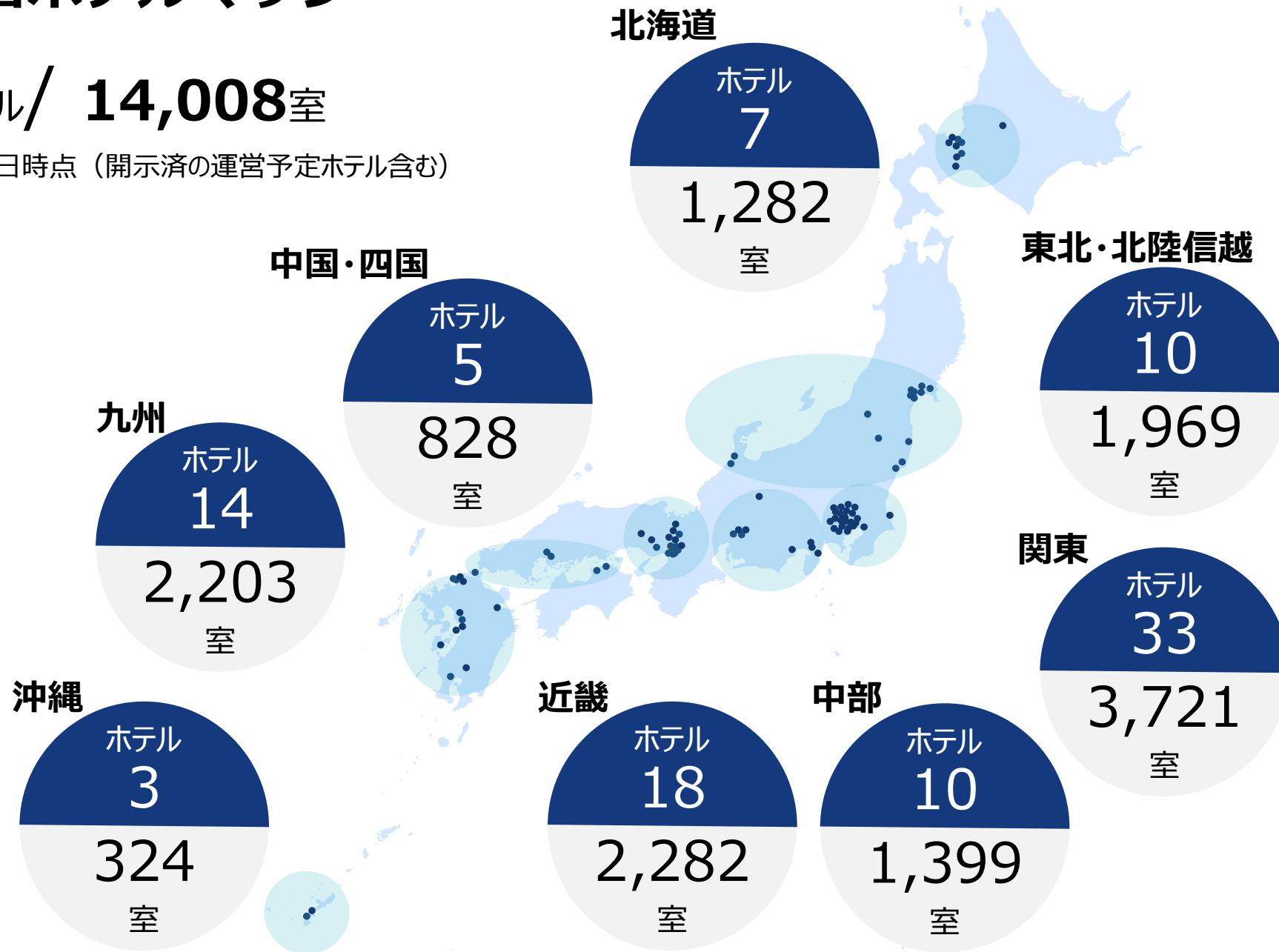
株主価値の向上

Appendix

# 国内運営ホテルマップ

100ホテル/ 14,008室

2026年5月13日時点（開示済の運営予定ホテル含む）



# 開業予定ホテル一覧 21ホテル／2,178室

開業期	No.	ホテル名（仮称）	所在地	客室数	開発形態	契約タイプ	ホテルタイプ
2027/3月期	1	KOKO HOTEL Premier 東京ベイ幕張	千葉	301室	新築	運営受託	宿泊特化型
	2	KOKO HOTEL Residence 押上	東京	25室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	アパートメントホテル
	3	未定	東京	39室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	未定
	4	KOKO HOTEL Residence 北上野	東京	39室	新築	運営受託	アパートメントホテル
	5	KOKO HOTEL 那覇前島	沖縄	132室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	宿泊特化型
2028/3月期	6	KOKO HOTEL Residence 熊本上通	熊本	29室	新築	運営受託	アパートメントホテル
	7	kokonoyu 別府	大分	150室	新築	賃貸借（変動賃料）	温泉ホテル
	8	KOKO HOTEL 水戸駅前	茨城	136室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	宿泊特化型
	9	KOKO HOTEL Residence 上野 新御徒町 I	東京	52室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	アパートメントホテル
	10	那覇松尾公園アパートメントホテル	沖縄	19室	新築	未定	アパートメントホテル
	11	KOKO HOTEL Residence 東京京橋	東京	36室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	アパートメントホテル
	12	KOKO HOTEL Residence 上野 新御徒町 II	東京	52室	新築	運営受託	アパートメントホテル
	13	KOKO HOTEL Residence 本所吾妻橋	東京	45室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	アパートメントホテル
2029/3月期	14	奈良市三条町ホテル（新ブランド予定）	奈良	138室	新築	賃貸借（変動賃料）	ライフスタイルホテル
	15	那覇県庁前ホテル（新ブランド予定）	沖縄	173室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	宿泊特化型
	16	KOKO HOTEL Residence 上野 新御徒町 III	東京	45室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	アパートメントホテル
	17	KOKO HOTEL 高松瓦町駅前	香川	165室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	宿泊特化型
	18	KOKO HOTEL 佐世保	長崎	204室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	宿泊特化型
	19	KOKO HOTEL 大森駅前	東京	153室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	宿泊特化型
	20	KOKO HOTEL Residence 上野新御徒町4	東京	65室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	アパートメントホテル
2030/3月期	21	広島稲荷町ホテル（新ブランド予定）	広島	180室	新築	賃貸借（固定+変動賃料）	ライフスタイルホテル

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

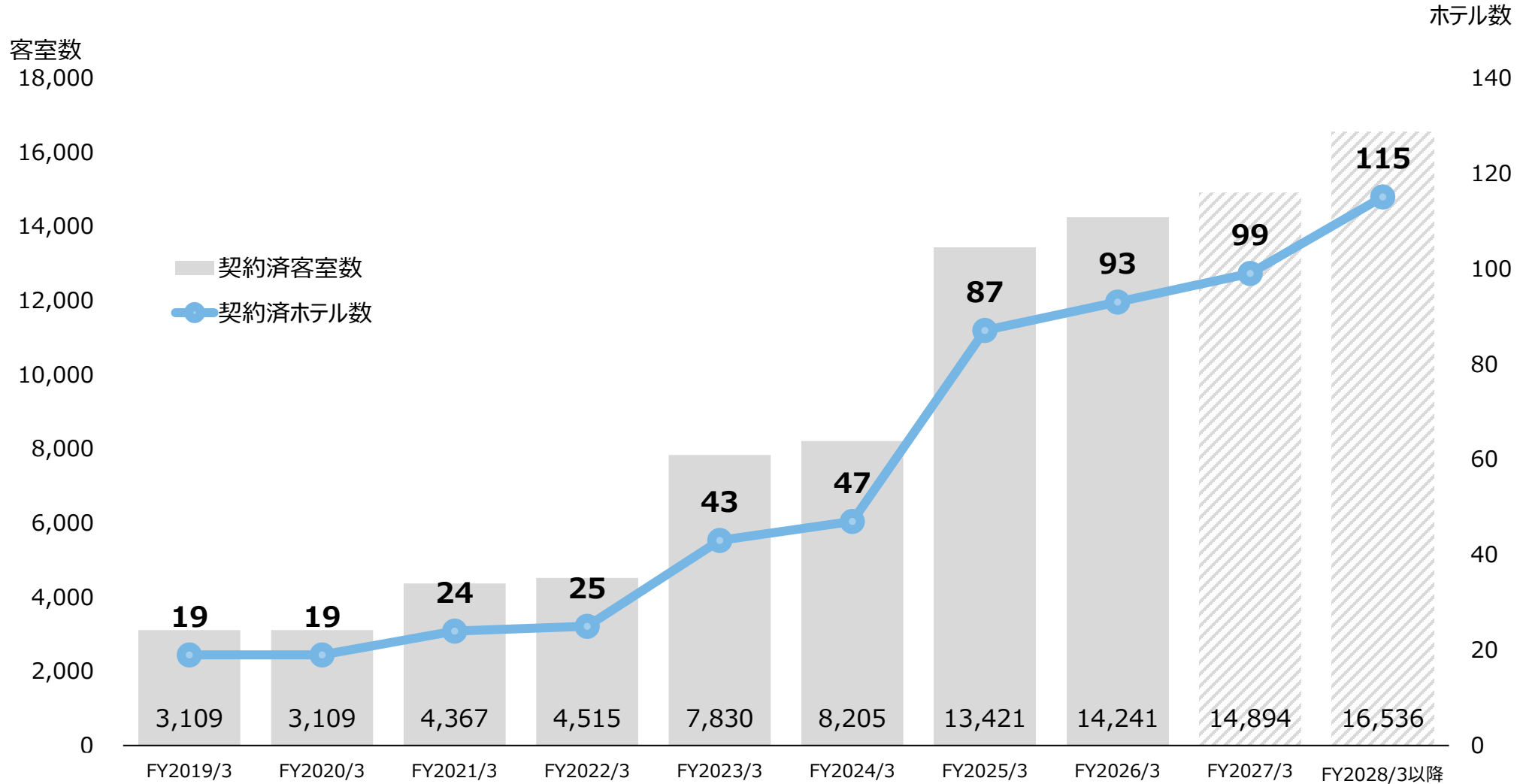
業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 新規出店の状況：運営ホテル数・客室数推移

2027年3月期以降で21ホテルの開業予定があり、将来のストック収益を順調に積み上げ



注：2026年5月時点で開示済の契約済ホテルのみの推移。契約締結に向けて交渉中・検討中等のホテルを含まない。

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 国内宿泊特化型ホテル 客室数ランキング

## 第8位 (2026年4月末時点)

順位	運営会社	ホテルブランド名	上場/ 非上場	ホテル数	客室数
1	アパグループ	アパホテル, the b	非上場	372	87,107
2	東横イン	東横INN	非上場	365	80,117
3	ルートイングループ	ホテルルートイン, アークホテル	非上場	366	65,151
4	アイコニア・ホスピタリティ	ホテルマイステイズ, アートホテル	非上場	182	25,456
5	共立メンテナンス	ドーミーイン	上場	143	22,316
6	スーパーホテル	スーパーホテル	非上場	178	20,584
7	グリーンズ	チョイスブランド	上場	119	16,796
8	ポリス・ホールディングス	KOKO HOTEL, ベストウェスタンホテル, バリュー・ザ・ホテル, レッドプラネット	上場	114	16,332
9	ダイワロイネットホテルズ	ダイワロイネット	非上場	77	16,181
10	相鉄ホテルマネジメント	相鉄フレッサイン, ホテルサンルート	非上場	77	15,664
11	東急ホテルズ&リゾート	東急ホテル, 東急REIホテル, エクセルホテル東急	非上場	67	13,951
12	ホスピタリティパートナーズグループ	スマイルホテル, スマイルスマートイン	非上場	87	11,459
13	藤田観光	ワシントンホテル, ホテルグレイスリー	上場	45	11,395
14	JR東日本ホテルズ	ホテルメトロポリタン, JR東日本ホテルメッツ	非上場	38	10,138
15	阪急阪神第一ホテルグループ	レム, ホテル阪神アネックス	非上場	40	9,988

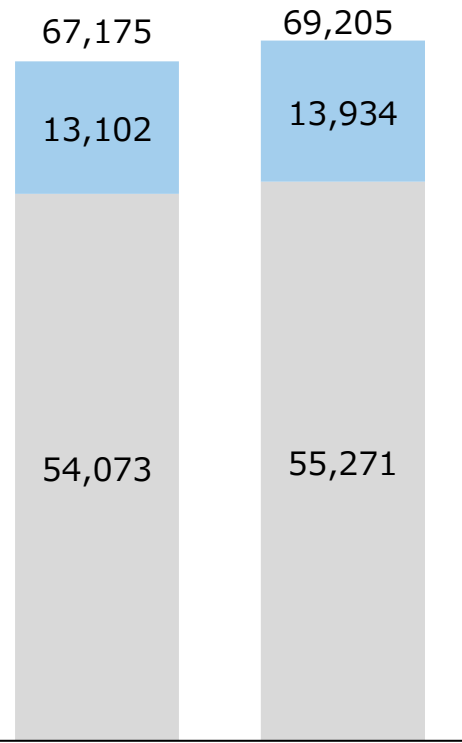
注 1. 宿泊特化型ホテルを中心に運営しているオペレーターの2025年4月時点のホテル数・客室数を、各社の公式Webサイト及び『HOTERES』2026年4月号の掲載情報を基に当社で作成。  
海外所在、他ブランドのフランチャイジーとして運営するホテルを含む。外部提携オペレーターが同ブランドホテルを運営する場合、その数値は除外。  
2. 当社の運営ホテル数・客室数は2026年4月30日時点で、海外ホテル及び出店予定ホテルを含む。

# 2026年3月期 連結財政状態

## 総資産

単位:百万円

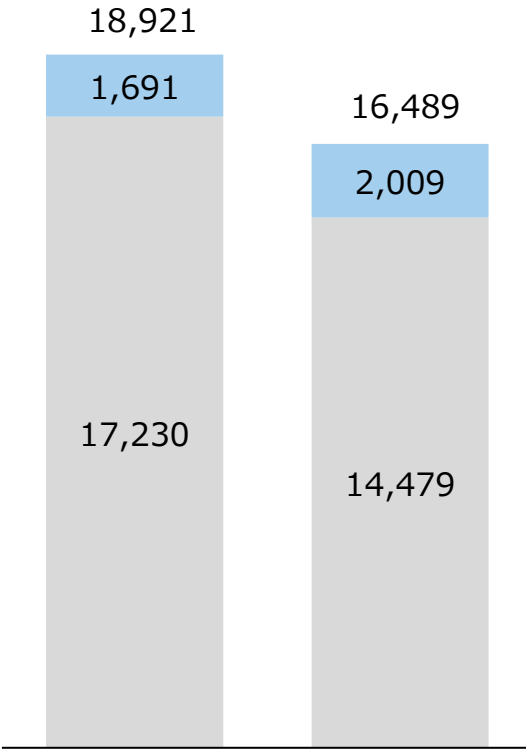
■ 固定資産 ■ 流動資産



## 有利子負債

単位:百万円

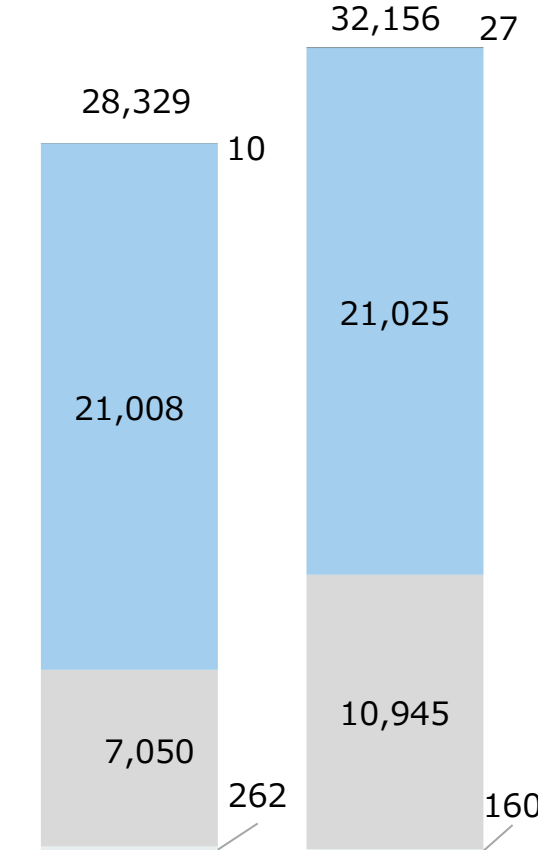
■ 長期負債 ■ 短期負債



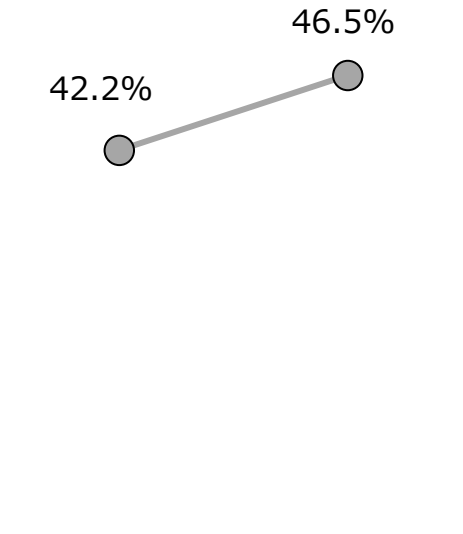
## 純資産

単位:百万円

■ その他 ■ 利益剰余金  
■ 資本剰余金 ■ 資本金



## 自己資本比率



注 1. リース債務を除く。  
2. 長期負債の返済期限は1年超。

- 決算ハイライト
- 決算概要
- 事業トピックス
- 事業概況
- 事業環境
- 新規出店の状況
- 業績予想
- 株主価値の向上
- Appendix**

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

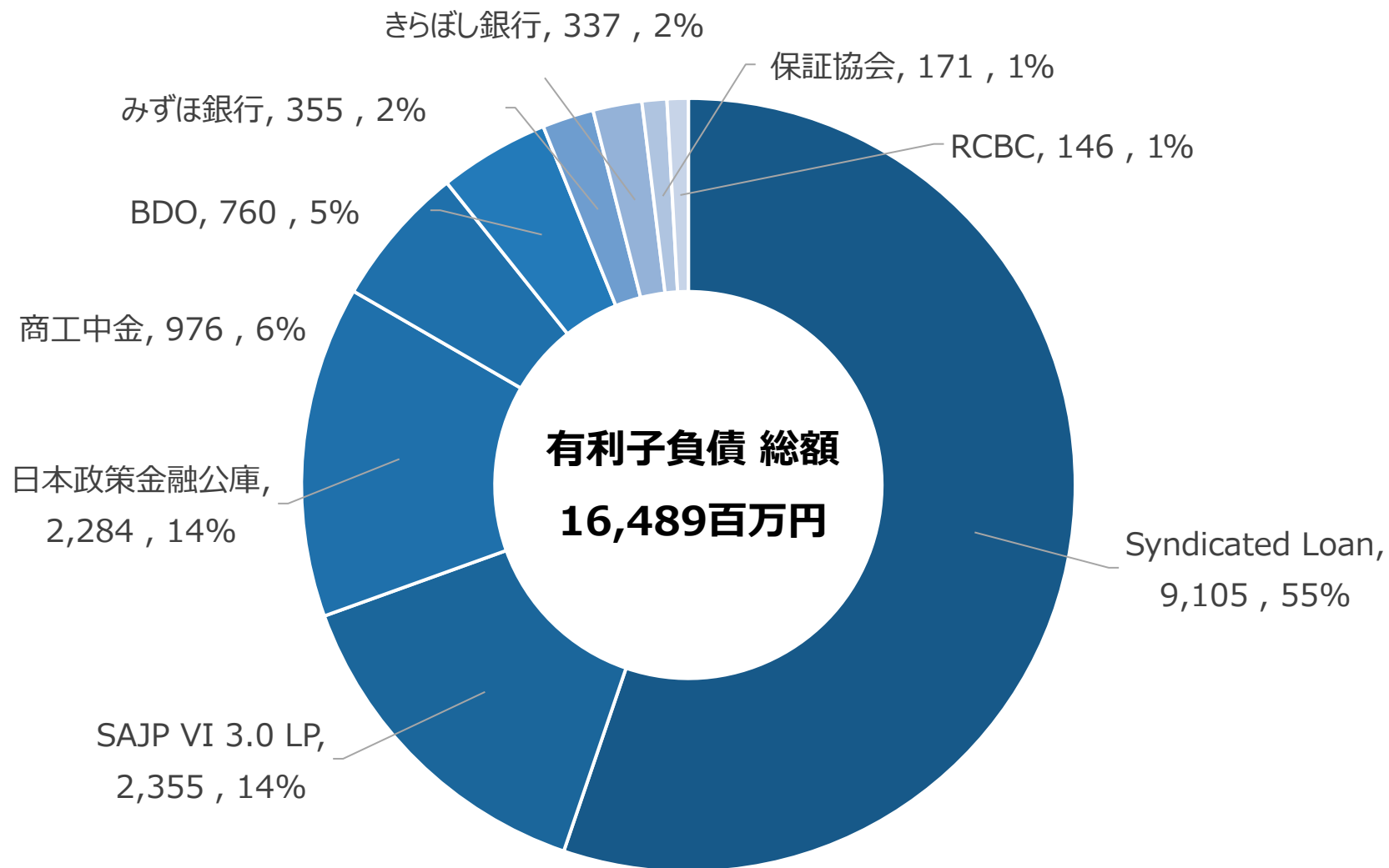
業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 借入の状況 2026年3月末現在

単位:百万円



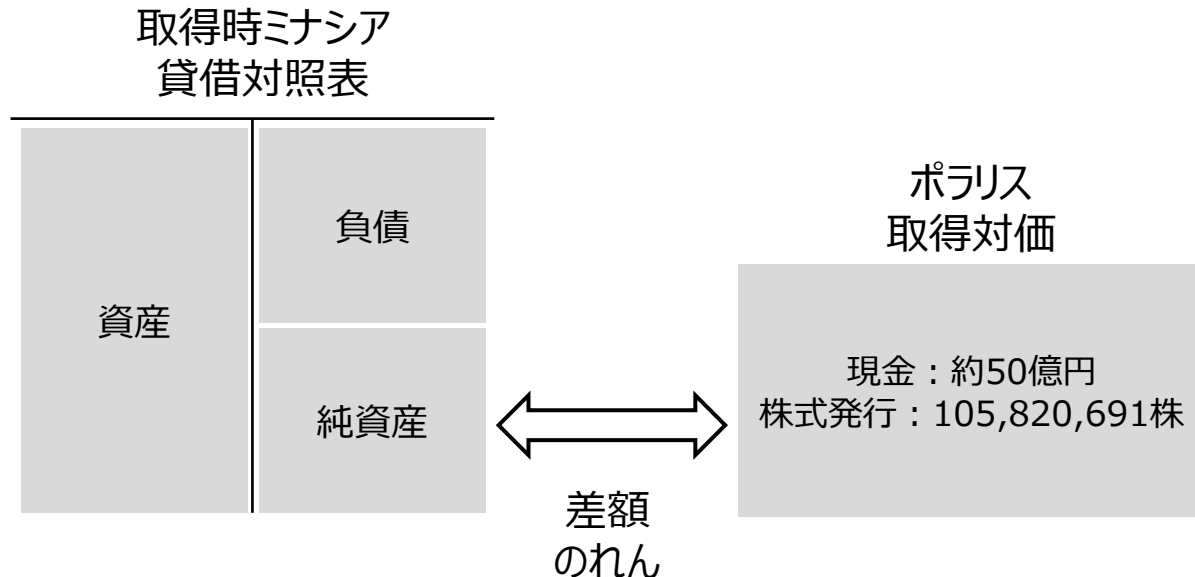
注 シンジケートローンは、株式会社みずほ銀行をアレンジャーとする計7行(株式会社三井住友銀行、株式会社きらぼし銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社SBI新生銀行、株式会社千葉銀行、株式会社十八親和銀行)の協調融資。

# のれん償却費について

ミナシアの株式取得により「のれん」を無形固定資産に計上

## 当社では実質的な収益力を表す、のれん償却前の各種利益指標を重視

- 子会社化時のミナシアの純資産簿価と株式交換取引額（現金 + 新株発行）との差額261億円を計上
- 販売費及び一般管理費にのれん償却額計上（年間13億円、各四半期3.3億円）
- 現金支出を伴う費用ではない為、キャッシュフローに対する影響はなし
- 当社では、のれん償却前の営業利益・当期純利益を重要な経営指標と位置付ける



計上額 **261億円**  
2026年3月31日時点残高：244億円

償却額 **13億円/年**

償却期間 **20年間**

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

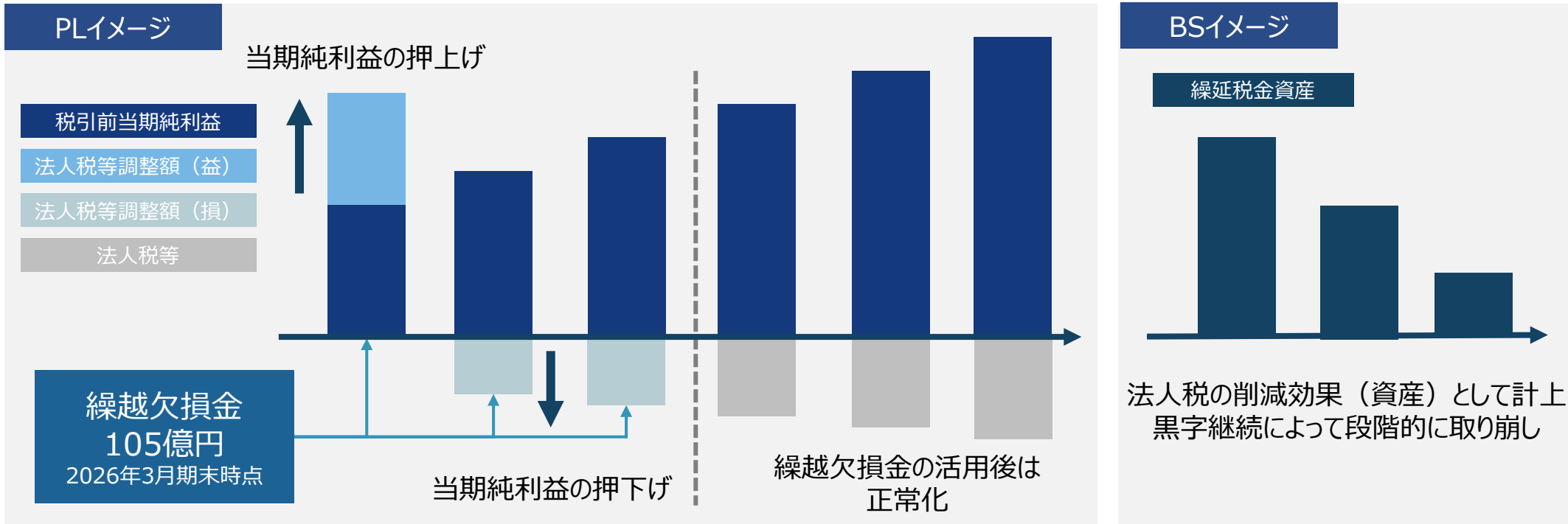
業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 繰越欠損金と繰延税金資産について（税効果会計）

- ・ コロナ禍の赤字により発生した多額の繰越欠損金を活用することで、当面の法人税等の納付額が削減される見込み
- ・ 今後の当社業績が安定的と認定されたことから、将来の法人税等の削減効果を資産（繰延税金資産）として2026/3期のBSに計上、同時にPLで「法人税等調整額（益）」を計上するため、税引後当期純利益が一時的に増加
- ・ 翌年度以降、黒字が継続した場合は繰延税金資産を取り崩して「法人税等調整額（損）」を計上するため、繰越欠損金の活用が終了するまで税引後当期純利益が表面的に押し下げられることとなる
- ・ 企業会計と税務会計のズレを調整するために義務付けられた会計処理であり、2027/3期の税引後当期純利益が減益予想となる要因
- ・ あくまで会計上の処理であり、「法人税等調整額」計上に伴うキャッシュの動きはない。



注：上記の図はあくまでイメージであり、実際の財務数値を表しているものではありません

## より魅力ある株主優待へ

優待付与の最低保有株数を500株に引き下げ  
贈呈する宿泊割引券の金額を一部引き上げ

変更前

保有株式数 (下限)	保有株式数 (上限)	優待金額 (円)
100	499	なし
500	999	なし
1,000	1,999	なし
2,000	3,999	なし
3,000	3,999	2,000
4,000	4,999	4,000
5,000	5,999	10,000
6,000	9,999	10,000
10,000	49,999	40,000
50,000	99,999	50,000
100,000	99,999,999	60,000

変更後

保有株式数 (下限)	保有株式数 (上限)	優待金額 (円)
100	499	なし
<b>500</b>	<b>999</b>	<b>2,000</b>
<b>1,000</b>	<b>1,999</b>	<b>4,000</b>
<b>2,000</b>	<b>2,999</b>	<b>6,000</b>
<b>3,000</b>	<b>3,999</b>	<b>6,000</b>
<b>4,000</b>	<b>4,999</b>	<b>8,000</b>
5,000	5,999	10,000
<b>6,000</b>	<b>9,999</b>	<b>12,000</b>
10,000	49,999	40,000
50,000	99,999	50,000
100,000	99,999,999	60,000

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 5ヶ年連結財務データ

決算年月		2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期	2025/3月期	2026/3月期
売上高	千円	2,971,588	3,712,127	7,017,664	22,545,288	27,881,446	48,469,321
経常利益又は経常損失 (△)	千円	△1,684,631	△1,623,142	△215,243	2,608,746	1,893,262	2,896,055
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	千円	△2,101,153	△1,829,816	534,189	3,297,199	2,610,672	4,596,358
包括利益	千円	△2,101,092	△1,829,815	534,190	3,361,789	2,810,851	4,494,133
純資産	千円	△784,433	192,600	2,910,571	6,884,782	28,329,421	32,155,558
総資産	千円	4,996,853	12,035,678	24,653,218	23,208,107	67,174,815	69,205,013
1株当たり純資産	円	△13.35	1.99	24.83	55.46	121.19	137.47
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	円	△37.83	△25.98	4.98	26.86	16.90	19.66
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	円	—	—	4.91	26.44	16.83	—
自己資本比率	%	△15.8	1.5	11.8	29.7	42.2	46.5
自己資本利益率	%	—	—	34.6	67.4	14.8	15.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	千円	△1,509,540	△7,818,785	△109,963	7,739,499	4,285,318	5,805,951
投資活動によるキャッシュ・フロー	千円	△650,867	△415,301	△728,200	△1,659,113	△3,876,064	△2,126,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	千円	2,946,137	8,798,969	2,185,003	△6,943,207	4,043,345	△3,704,767
現金及び現金同等物の期末残高	千円	1,659,505	2,224,386	3,571,227	2,723,271	7,195,869	7,159,918
従業員数	名	191	171	358	486	1,109	1,940

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

Appendix

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 会社概要

2026年3月末現在

商号	ポリス・ホールディングス株式会社
設立年月日	1912年9月20日
本社所在地	東京都中央区新川一丁目23番5号 ONE SHINKAWA
資本金	27百万円
純資産（連結）	32,156百万円
従業員（連結）	1,940名
事業内容	ホテル運営事業、ホテル投資事業
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード市場） 証券コード 3010
会計監査人	誠栄有限責任監査法人

決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

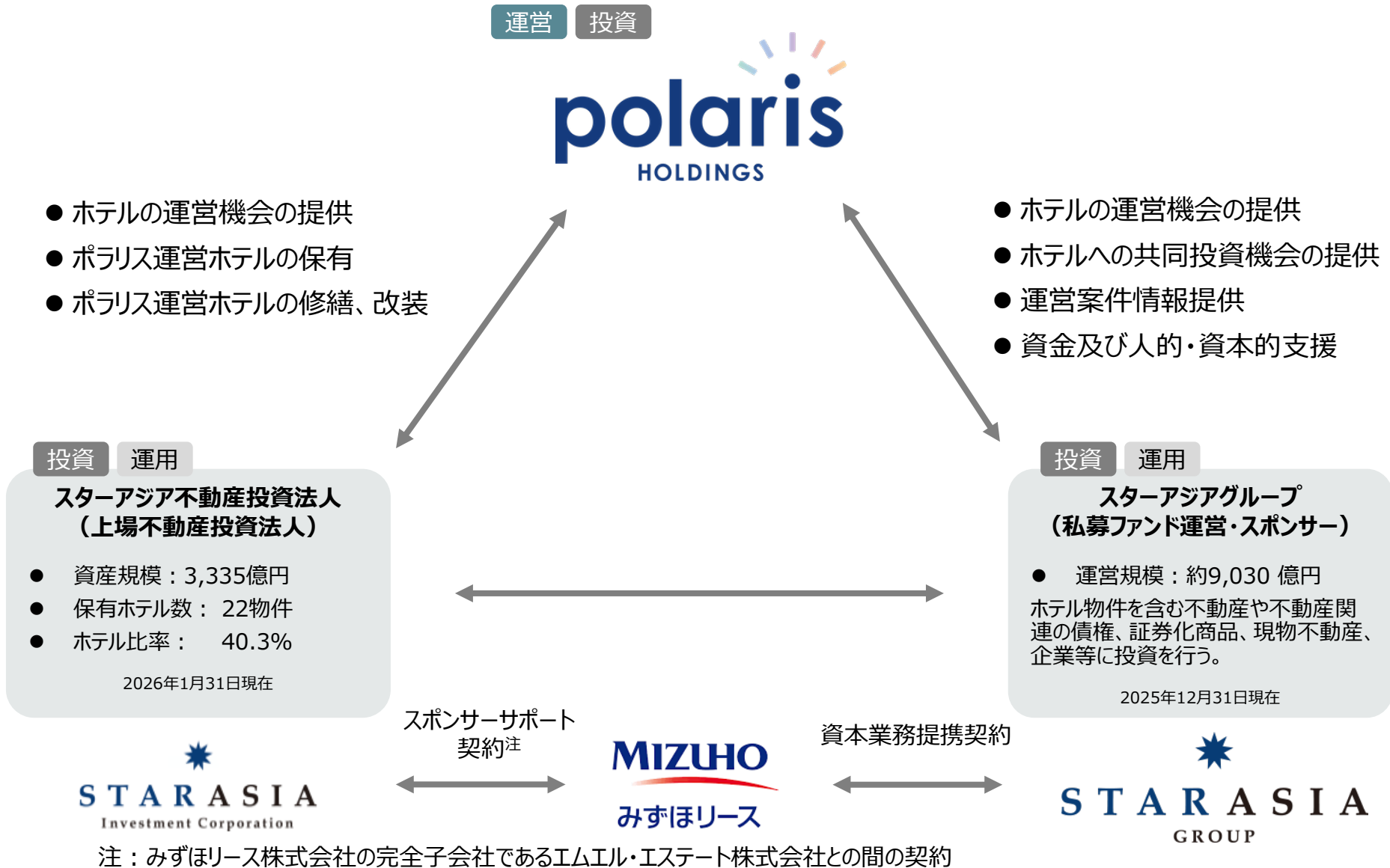
新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 会社概要：スターアジアグループとの協業



決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 株式情報・株主の状況 2026年3月末現在

発行する株式の内容	普通株式
発行可能株式総数	496,000,000株
発行株式の総数	233,914,680株
総株主数	11,789名

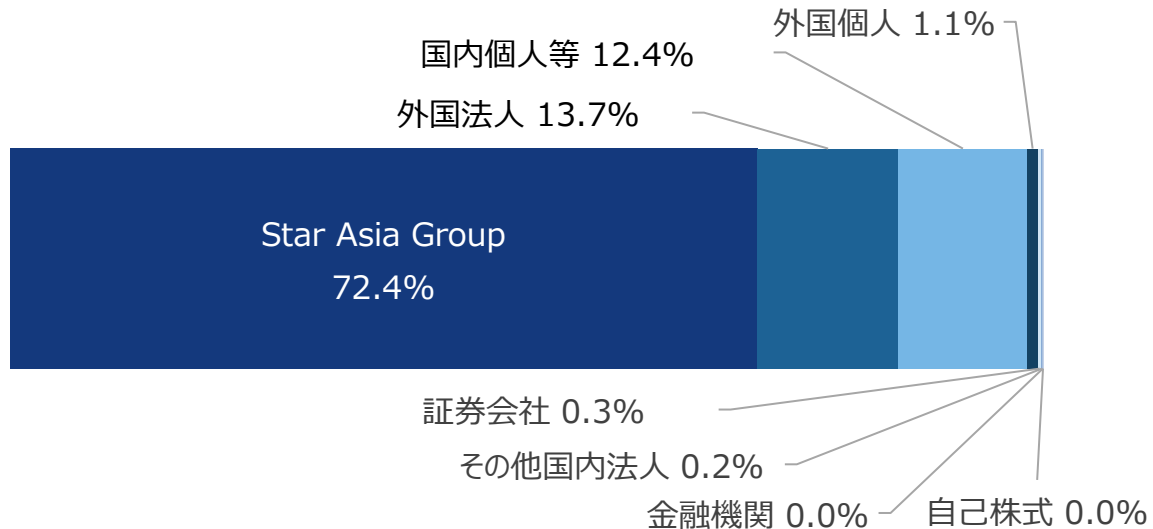
## 主要株主

株主名	株式数	持株比率
SAJP VI 3.0 LP	105,820,691株	45.23%
Star Asia Opportunity III LP	39,976,962株	17.09%

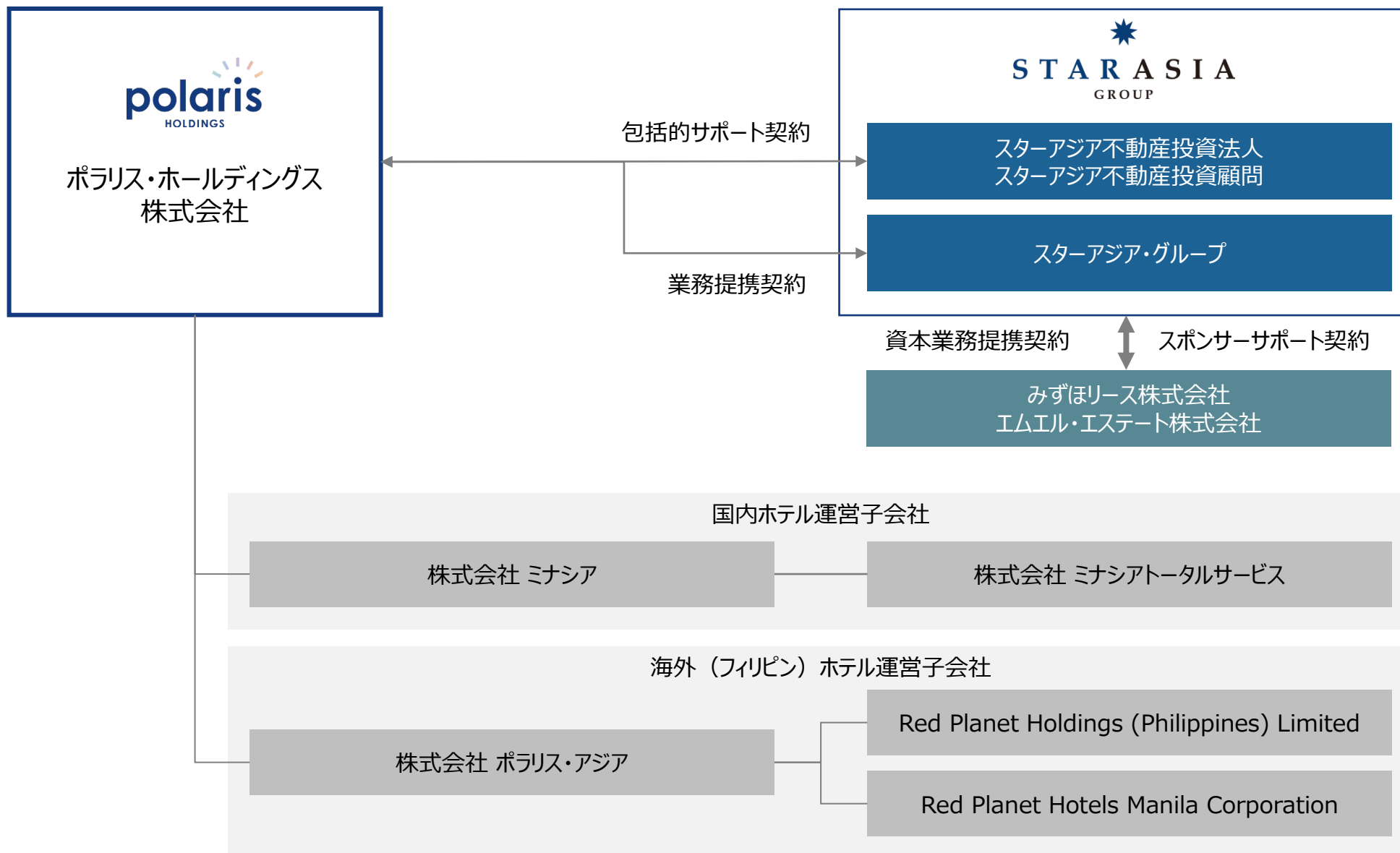
## 各取締役の保有株式数

取締役会長	高倉 茂	149,400
代表取締役社長	田口 洋平	54,800
取締役兼最高執行責任者	下嶋 一義	20,000
取締役兼最高財務責任者	細野 敏	105,615
取締役	辻川 高寛	82,400
取締役	俵 健太郎	20,000
取締役	松崎 充宏	20,000
取締役	Joseph Altwasser	136,200
社外取締役	諸橋 隆章	38,000

## 所有者別株式分布



# 会社概要：関連会社一覧



決算ハイライト

決算概要

事業トピックス

事業概況

事業環境

新規出店の状況

業績予想

株主価値の向上

Appendix

# 留意事項:国内運営ホテル及びエリア別KPIについて

1. 2024年4月時点において運営を開始しており、かつ2026年3月末日時点で運営を継続しているホテルを集計対象としています。前年度の各数値は、2025年3月期より連結対象となった株式会社ミナシアが運営しているホテルの数値を含みます。また、東日本大震災からの復興支援を主目的とした社会貢献ホテルの「バリュー・ザ・ホテル」ブランドの4ホテルは集計対象外としております。
2. 客室稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。
3. ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいいます。一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を含みます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
4. RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除した値をいいます。
5. インバウンド比率：一定期間の延宿泊者数に占める外国人延宿泊者数の比率をいいます。
6. 客室稼働率、インバウンド比率、ADR及びRevPARは小数点以下を四捨五入して記載しています。
7. 各エリア名の括弧内に当該エリアに含まれる集計対象ホテル数を記載しています。
8. 上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経ていないため、個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではなく、今後修正される可能性がありますのでご注意ください。

# 本資料に関する注意事項

本資料は、株主・投資家の皆様への当社に関する情報提供のみを目的とするものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

また、本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。そのため、一定のリスクや不確実性が含まれており、今後の事業環境や通常予測し得ないような特別事情の発生により、将来の予想と実際の業績が異なる場合があることをご承知おきください。

業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。株主・投資家の皆様が本資料をいかなる目的でご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

また、当資料を無断で複写複製、転送等を行わないようお願いいたします。

- IRに関するお問い合わせ

ポラリス・ホールディングス株式会社 IR推進部

e-mail: [ir.dept@polaris-holdings.com](mailto:ir.dept@polaris-holdings.com)

旅に笑顔を。人生に彩りを。

